

2020年10月25日(日)メッセージアウトライン「あなたはどこに向かっているのですか？」

聖書箇所：ヘブル人への手紙11章1節、8～16節

タイトル：「あなたはどこに向かっているのですか？」

」

テーマ：ヘブル人への手紙11章は、1節ではっきりと信仰とは何かという定義からスタートしている。「信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」

その上で、旧約時代の信仰者たちの信仰がどんなものであったかを具体的に例にあげながら、彼らが必ず実現すると信じた望み、目に見えないけれど確信していた事柄の内容を明らかにしている。

少なくとも、彼らは地上生涯での自分たちの願いが実現するようにと願ったわけでもなく、それに望みを置いていたわけでもない。

彼らの望み、未だ実現していないけれども強い確信をもって究極的にめざしていたものは、「天の故郷」だった。

クリスチャンは、旧約聖書が約束していた救い主イエス・キリストに出会い、イエス様が私たちのために成し遂げて下さった十字架による罪の贖いを信じ、罪赦され、神と和解させていただき、新しいいのちに生きる者とされ、神の国の市民とされたことを心から信じている者である。そんな私たちは、今、何を目指して歩んでいるのだろうか。

旧約時代の聖徒たちは、イエス・キリストに出会ってはいない。クリスチャンは、旧約聖書で預言されていた救い主イエス・キリストに出会い、このお方を信じている。旧約の聖徒たちも、クリスチャンも信仰によって目指すところは同じはず。「私たちは彼ら以上に天の故郷を慕い、期待し、そこにに入れていただける希望をもって歩んでいける、最後まで信仰の馳せ場を走って行こう」と、この手紙の著者は語っている。(この手紙の著者は不明である)

今日の箇所から、この地上生涯をこの世の寄留者、あるいは旅人として歩んだアブラハムの信仰を学びつつ、私たちの信仰を見直してみよう。

1. アブラハムの生涯 (ヘブル11:8～10)

①真の神に出会う前

②真の神の呼びかけに応えて

③神からの命令と約束を受けて

* 「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい」(創12:1) ——命令

* 「そうすれば」(創2:2) ——命令に従って出て行くなら

- 1) アブラハムは大いなる国民となる（イスラエルの民の誕生）子孫と土地
- 2) アブラハムは神の祝福を受ける（霊的にも物質的にも）
- 3) アブラハムの名は、大いなるものとなる（アブラハムは3大宗教の父となった）

* 「あなたは祝福となりなさい」（祝福の基となるように）

- 1) アブラハム（のちのイスラエルという民）を祝福する者を祝福する
- 2) アブラハム（イスラエルという民）をのろう者をのろう
- 3) 地のすべての部族はアブラハム（イスラエル）によって祝福される（異邦人にも及ぶ祝福の約束）

以上の命令と約束をいただいて、アブラハムはカナン地に入っていく。

「信仰によって、アブラハムは相続財産として受け取るべき地に出て行くようにと召しを受けたときに、それに従い、どこに行くのかを知らずに出て行きました。信仰によって、彼は約束された地に他国人のように住み、同じ約束をともに受け継ぐイサクとヤコブと天幕生活をしました。」（ヘブル11：8、9）

④神の真実に信頼して（ヘブル11：11～16）

創世記25：7、8

「アブラハムは幸せな晩年を過ごし、年老いて満ち足り、息絶えて死んだ。そして自分の民に加えられた」

2. クリスチャンの人生

①イエス・キリストに出会う前

②イエス・キリストの招きに応じて

③神からの命令と約束

* イエス・キリストを信じて救われなさい。——命令

* 神を愛し、主が私たちを愛してくださったように互いに愛し合いなさい。——命令

* イエス・キリストを主と信じる者に与えられた約束

- 1) 永遠のいのちが与えられる。さばきにあうことがない。死からいのちに移っている（ヨハネ5：24）
- 2) 聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族（エペソ2：19）
- 3) 私たちの国籍は天にあります（ピリピ3：20）
- 4) まことの父の家には住まいがたくさんある。そこに場所を用意したらイエス様はその住まいに私たちを迎えてくださる（ヨハネ14：3）等々。

④神の真実に信頼して

3. 神を信じる者にとって地上生涯の持つ意味と目的

4. 結論

この地上生涯をひたすら主に信頼して、使命を果たしつつ、天の故郷を目指して進もう！